

## 教科目名 環境システム (Environmental System)

学科名・学年 : 都市システム工学科 5 年

単位数など : 選択 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 島田 晋

授業の概要		
人間活動の環境に対する影響の歴史と現況を学ぶ。環境科学(人間活動と環境の相互作用についての研究)の成果を都市地域整備に活かす方策を考える。今年度は、石 弘之著「地球・環境・人間 2」を通して、世界各地で進行している環境破壊の状況について学習する。		
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2)
(1) 公害問題から環境問題への歴史を通じ、理解を深め各種の事項について説明できる。(定期試験)		
(2) 環境科学の成果を都市地域整備に活かす方策を考え、問題点の指摘や新たな提案ができる。(定期試験)		
(3) 世界中で進行している「食料不足、絶滅の危機、地球温暖化、…」を学び、解説できる。(定期試験)		
(4) 環境に関連する統計データの裏側に見え隠れする人間活動の実態について論述できる。(定期試験)		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1	概説・まえがき 食料か燃料か、新たな争い	【理解の度合い】
2	高まるバイオ燃料批判	
3	10 億人の温暖化難民 温暖化で野鳥がピンチ	
4	世界の 10 大環境汚染地域	
5	アフリカの湖沼に異変	
6	明暗を分ける海洋汚染	
7	インドネシアで続発する大森林火災 カエルの大量絶滅	
8	前期中間試験	【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説 世界に広がるミツバチの大量失踪	【理解の度合い】
10	ミツバチ大量失踪はウイルスが原因 エボラ出血熱でゴリラが大量死	
11	激増する世界の糖尿病	
12	貧しい国から看護師を奪うのか 途上国に押し付ける電子廃棄物	
13	地球を覆う難燃剤汚染 進む中国の水質汚染	
14	加速する天然資源の過剰収奪	
15	前期期末試験	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	主として教科書を読み進み、各授業の後半に書き込み式の演習問題によって、公害の歴史と政治経済学的な側面を学習する。	
教 科 書	石 弘之:「地球・環境・人間 2」, 岩波書店。	
参 考 図 書	早川・種茂監修, 「環境工学の基礎」, 実教出版。	
自学上の注意	世界の環境問題と身近な環境問題に興味を持つ。	
関 連 科 目	衛生工学, 防災工学, 経済学概説, 現代社会。	
総 合 評 価	達成目標の(1)~(4)について 2 回の定期試験で評価する。 総合評価 = 2 回の定期試験の評点の平均。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は原則として実施しない。	
	【総合達成度】	点
	【総合評価】	点